

**63** キセノン-133静注法による運動負荷右心機能と肺 washoutの心肺同時機能測定  
河村康明, 山崎純一, 奥住一雄, 武藤敏徳, 若倉 学,  
中野 元, 五十嵐正樹, 細井宏益, 岡本 淳, 森下 健  
(東邦大学第一内科)

COPD疾患における右心機能と肺機能の関係をXe-133の静注法によって同時に検討した。COPD患者6名及び正常者6名に対して、安静時及び最大運動時にXe-133 20mCiずつを静注し、右室駆出率(RVEF)及び肺 washout(T<sub>1/2</sub>)を算出し両群の変化を検討した。両群の心肺パラメーターは、COPD群において運動負荷前後でRVEF: 25.8±5.0→22.3±10.3%, T<sub>1/2</sub> 120.0±60.7→92.0±69.4mSecと正常群に比し、有意なRVEFの低下( $p<0.05$ )及びT<sub>1/2</sub>の減少傾向を認めた。Xe-133の静注法による運動負荷試験は右室機能と肺機能を同時に検索可能で、臨床検査上の有用性を示唆させた。